

区政Now！（令和5年10月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」…西川太一郎



今年は関東大震災の発生から100年目に当たります。

科学技術の進歩した今でも地震の発生を予知することは困難な状況です。万が一に備えて、改めて自身や家族を守るための行動を確認するようにしてください。

区では、皆様の災害対策を支援するため、7日分の日常備蓄の推奨や、感震ブレーカーおよび家具転倒・落下防止器具の設置・購入費の助成等を実施しています。今後も、さまざまな災害対策を進めて参りますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

関東大震災100年防災体験イベントが開催されました

◇ 9月2日、関東大震災から100年の節目として大規模災害への備えや、防災の重要性を改めて考える機会を提供するため、荒川区と尾久消防署が共催で尾久図書館と宮前公園を会場に防災イベントを開催しました。

イベントの様子

- ▶ イベント当日は、当時の被害状況に関する資料展示や起震車による地震体験等を行い、参加者に地震の怖さを体感してもらうとともに、震災への備えや初期消火等の重要性を訴えました。



初期消火体験の様子

交通安全都民のつどい「TOKYO SAFETY ACTION」を開催しました

◇ 9月9日、サンパール荒川において、秋の全国交通安全運動に先立ち、交通安全都民のつどい「TOKYO SAFETY ACTION」を開催しました。このイベントは、改めて交通安全の大切さについて考えてもらうため、毎年9月に、荒川区と区内の警察署、交通安全協会の共催により、「荒川区民交通安全のつどい」として開催しているものですが、本年は警視庁本部行事に採択され、警視総監が参加する「交通安全都民のつどい」として実施をしたものです。

イベントの様子

- ▶ 警視庁の今年度の交通安全広報大使に就任したタレントの関根勤(せきね・つとむ)さんと俳優の村山輝星(むらやま・きらり)さんがステージに登場し、事故にあわないための注意点をクイズ形式で紹介し、交通ルール順守の徹底を呼びかけました。
- ▶ また、落語家三遊亭楽生師匠による落語や、警視庁音楽隊による時代劇の懐メロ特集などのミニコンサートが披露され、およそ850人が集まった会場は、大きな盛り上がりを見せていました。



西川区長の挨拶



イベントもついにフィナーレ！

東京荒川少年少女合唱隊「えきなかコンサート」を開催しました

◇ 9月10日、JR 東日本日暮里駅北改札内において、「東京荒川少年少女合唱隊～えきなかコンサート@JR日暮里駅～」を開催しました。JR東日本日暮里駅と東京荒川少年少女合唱隊との共催となるコンサートは、春のコンサートに続き、芸術の秋のスタートイベントとして、多くの方に気軽に音楽に楽しんでもらえるよう企画したものです。

東京荒川少年少女合唱隊について

- ▶ 東京荒川少年少女合唱隊は、「ここでうたいあげる合唱芸術」を目指し、1965年初代常任指揮者である、故渡邊顕麿氏によって創設されました。米谷毅彦氏を常任指揮者にむかえ、地域文化の向上と青少年育成を目的として、区内での出張コンサート等の活動を行い、58年の歴史を胸に歌い続けています。



コンサートの様子

都電ハロウィン号を運行します

◇ 秋の一大イベント「ハロウィン」の時期に合わせて、都電沿線の観光スポットや商店街等へ多くの人に訪れてもらおうと、東京都交通局とのタイアップによりハロウィン装飾を施した「都電ハロウィン号」を運行します。

- ▶ 運行期間:10月3日(火)～31日(火)
- ▶ 運行車両:9002号(青いレトロ車両)
- ▶ 運行情報:下記東京都交通局ホームページにて閲覧できます。

【HP】<https://tobus.jp/tlsys/navi>



都電ハロウィン号

おから活用グランプリが開催されます

◇ 荒川区では、地域全体で楽しみながら食品ロスについて考え、店舗とお客様をつなげ絆を深めるため、「おから活用グランプリ」を開催します。

おから活用グランプリについて

- ▶ 開催期間:10月1日(日)～31日(火)
- ▶ 食品ロス問題への意識が高い荒川区の店主が集まり開催。大倉屋豆腐店(南千住)、朝日屋豆腐店(町屋)、吉澤豆腐店(西尾久)の3店舗から提供された「おから」を活用し、参加店舗22店舗がオリジナル料理やスイーツ、変わったアイデア商品・サービスを開発しました。
- ▶ 参加店舗で対象商品を購入・注文することで投票券が貰え、お客様のWeb投票により、「料理・惣菜」「デザート・菓子」「アイデア・サービス」の各部門でグランプリを決定します。
- ▶ スタンプラリーも同時開催します。

